

共同研究の実績報告会 2015

地域企業としての取組み（2年目）



農業生産法人（有）FRUSIC



去年のアンケート結果

1. ほぼ10割が期待感のある意見
2. 計画をどう実現するか？が課題

2については、全くその通りです。

プロジェクトは、物理的な要因と心理的な要因が生じれば、あっという間に頓挫してしまいます。

実際、里山座談会もストップしてしまいました。

地域企業として【できること】は【やる】

アンケート調査に【もう一度目を通し】

【1つずつ答えを見つけ出す】ことにしました。

地域企業は、行政がやりにくい部分をフォローするのも役割です。

1. 絵本への賛同
2. 市道の刈り草
3. 高校との連携
4. 教育への展望
5. PR方法模索





1. 絵本製作へ

絵本の中の【山羊さん】を通して、【社会のルール】や人が【生きていく】ことの意味を、身近なことを背景に表現していきたいと思います。

大人が読んで【なるほど!】と思うようなものにしたいと思います。

ストーリーの叩き台は、3作できています。

どのような形で進めていくのか？

出口と着地点を考え、方向性を決めます。

2. 市道の刈り草

将来的には、市道などの【刈った草】を【冬場の食料】にする技術が生まれればと考えています。

可茂森林組合さんからの提案で、ナラ皮（ナラの木）をプレスし、【せんべい】を作ってもらいました。それを、山羊さんに食べてもらいました。

体調変化？ 継続的に食べるか？ 栄養はどうか？ 課題は山積みですが【第1歩】！



3. 高校との連携 ①

2012年から加茂農林高校 森林科学科（現在の林業工学科）の生徒たちが、山羊さん除草のお手伝いに来てくれています。

こうした取組みを全国の大会などで発表し、その取組みが評価されています。

2013年には、コカ・コーラ環境教育賞、イオンエコワングランプリで、内閣総理大臣賞

コカ・コーラ環境教育賞から、【ミツバチ】の取組みが本格化し、ハチの巣箱を提供中！

将来は、採取した【ハチミツ】で商品化？



3. 高校との連携 ②



山羊さんの【置土産】から【手土産】

加茂農林高校 生物工学科（現在の食品化学科）のスイーツ男子が作った
塩麴入り【スウィートポテト】 例の【ハチミツ】入り？

4. 教育への展望 ①

2014年8月25日【山羊さん触れ合い教室】開催

親子連れを対象に、山羊さんに触れ、見て【山羊さんの生態】を学びました。パネルは岐大生の手作りです。



4. 教育への展望 ②

2014年9月28日【日本草地学会：岐阜】開催

全国から大学の研究者（教員と学生）が集まり、現地実習を北部実習場で行いました。ヘリコプターを使い、航空写真から緑地帯を理解するデモがありました。

☆2015年3月 日本草地学会（信州大会）にて、ここでの研究報告がされます。



4. PR方法模索

昨年、悲しい事件がありましたが、【山羊さん除草隊】の発信力の高さに驚かされました。

これから、どのような形で【つなげていく】のか、注目されていると思います。



2014年、【日本昭和村】を【山羊さん除草隊】の本拠地としました。

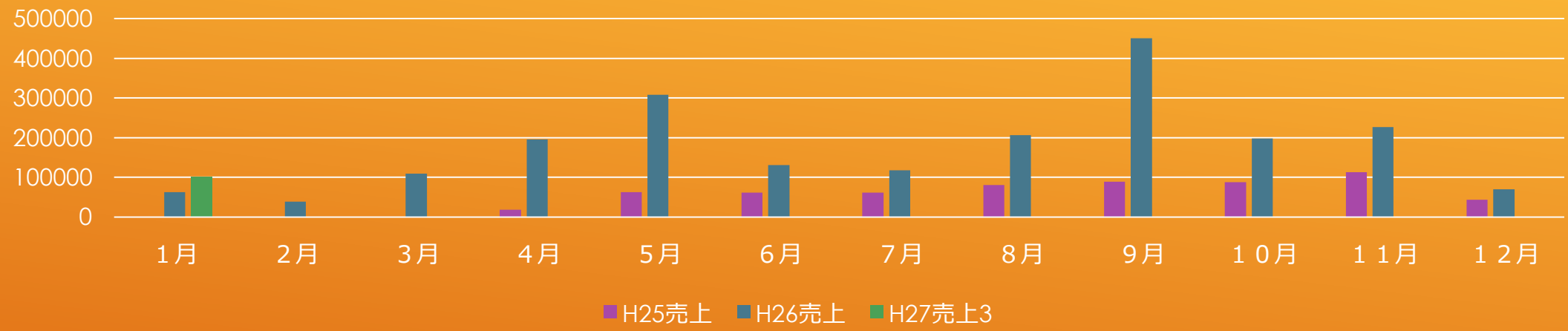
単年なので決めつけはできませんが、動物コーナーへ足を運んでくれるお客様が増えたこと、動物用の餌を買い求められるお客様（収益）も増加しました。

2015年（秋） 稲藁アート開催

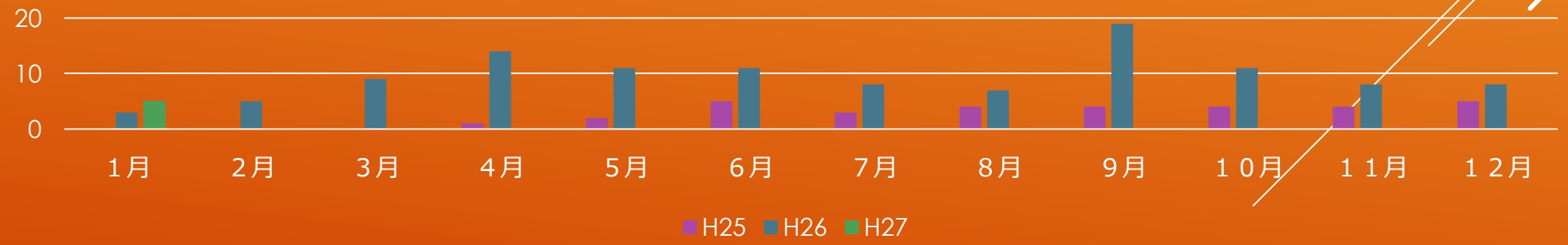
2017年（秋） 全国山羊サミット開催（内諾）

☆ 昭和村 動物コーナー（平成26年4月リニューアル）

動物の工サ販売 金額



客単価 比較（入場者が動物エリアに落とした金額）



☆ 稲わらアート 武蔵野美術大学 宮島教授



今治市玉川町 ワラシシ 2014,9,27



愛媛県今治市 2014.9.27
(マルシェ併設)

埼玉県 2015.2.14